



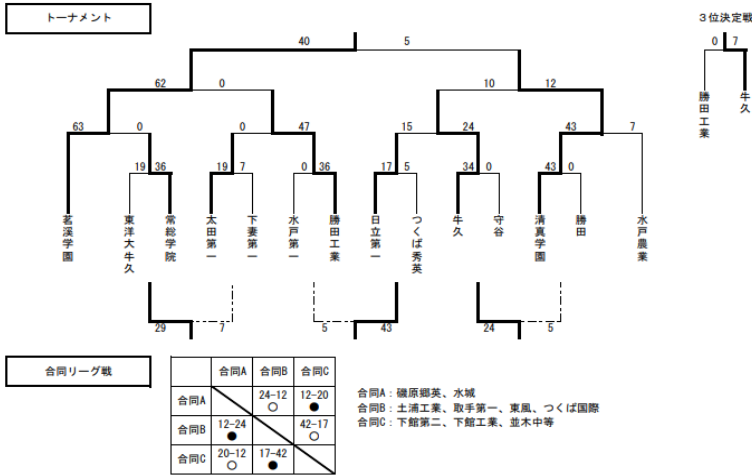
部活動通信

Resurrection of TORIICHI RUGBY



令和4年度全国7人制大会予選結果

日時：令和4年6月18日(土)・19日(日)
会場：堀原運動公園競技場、堀原運動公園自由広場



6月18日(土)、堀原運動公園を会場として、令和4年度全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会茨城県予選が行われました。

本校は、合同Bとして合同チームによるリーグ戦に参加し、合同A(磯原郷英・水城)には敗れたものの、合同C(下館二・下館工・並木中等)に勝利し、1勝1敗という結果を収めることができました。

大会では、同じ県南地区の牛久高校がトーナメント戦で3位に入賞し、大会を盛り上げました。優勝は茗溪学園で9年連続で全国大会への出場を決めました。

1 試合目 合同B 12-24 合同A



1 試合目は、合同A(磯原郷英・水城)との対戦でした。試合開始から動きがよくなり、ミスも連続しました。そこからトライを奪われてしまう悪い流れのまま前半が終了しました。その後もリズムに乗ることができず、12対24というスコアで敗戦となりました。

試合前のウォームアップから見てみると、試合に臨むための準備が足らず、気持ちも試合に集中していなかったように感じました。最初から全力で臨むために心身ともに集中することの大切さを改めて学ぶことができました。

7人制は、1日に複数の試合を行います。この試合の経験を生かして、次の試合に臨むこととなりました。



2試合目 合同B 42-17 合同C



1 試合目の敗戦から準備をすることの大切さを学んで臨んだ第 2 試合。試合前に十分にストレッチを行い、動きの確認を入念に行き気持ちを高ぶらせて臨みました。対戦相手は合同C（下館二・下館工。並木中等）です。合同C はその前の試合で敗れた合同Aに20対12で勝利しているため、この試合も苦戦するのではないかと予想されました。

しかし、その予想は見事に裏切られました。1 試合目とは全く別のチームのような動きの良さを見せ、次々にトライを重ねることができました。本校の選手もトライこそ取らなかったものの、トライを演出する活躍や、キックを正確に決めるなど勝利に大きく貢献しました。最終的には42対17という大差で勝利し、日程を終了しました。

何事においても、気持ちを高め、準備をしていく

ことは大事だということが改めて実証され、選手たちもよい気づきを得ることができたのではないのでしょうか。残る大会は10月に行われる15人制の全国大会予選です。本校の選手は共に3年次であるので、次が最後の大会となります。自身の進路活動と並行しながらで大変でしょうが、最後まで悔いなく頑張ってもらいたいと思います。



マネージャーが増えました！



現在のところ、1年次のマネージャーが3名入部してくれました。3名とも現在、マネージャーの仕事を覚えたり、選手と一緒に体を動かしたりしながら元気に活動しています。2年次、3年次のマネージャーも1年次を指導してくれております。

次は選手となる部員が入部してくれることが大切です。少しずつ声をかけていながら、部員の獲得に努めていきたいと思っております。

取手一高でラグビーを！

